

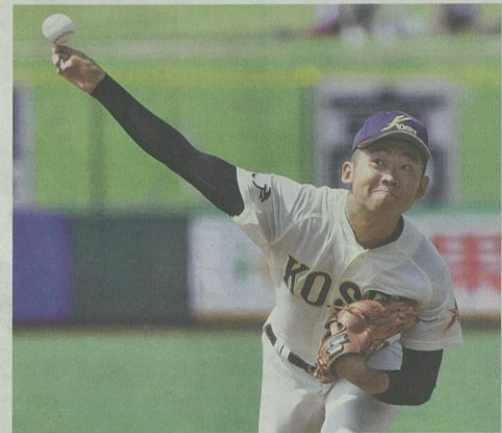
打撃戦 光星4発

青森山田に7回コールド



◇第9日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第9日は20日、弘前市はるか夢球場で準決勝2試合を実施した。前回大会の決勝と同一カードとなった八学光星―青森山田は、光星が4本塁打を含む14安打と打線が爆発し、前回覇者の青森山田をコールドで退けた。弘前工―弘学聖愛の同地区対決は、2―1で聖愛に軍配が上がった。21日は休養日のため試合を行わない。決勝は22日、同球場で実施する。午後1時試合開始。(取材班)



先発した八学光星の主戦福山優希

主戦途中降板
反省の色強く
○：前回大会決勝と
同カードの八学光星と
青森山田による準決勝
は、春季県大会に続き
光星に軍配が上がった
た。仲井宗基監督が
「真つ勝負で行く」
と信頼してマウンドに
送り出したのは昨夏の
決勝で登板し、悔し
を味わった主戦福山優
希。結果は光星打線が
爆発して雪辱を果たし
たが、福山は、勝利は
うれしが、まだ準決
勝。これからの大事
き締め、大一番に照準
を合わせた。

光星―聖愛あす決勝

準決勝

青森山田 Hoshimaru
157

7回コールド
青 平沼 畑田 上崎

工藤、佐々木優
△福山、中村、秋山
▽本塁打 但井、武岡2、
長南(△)

▽二塁打 佐々木優(青)
▽犠投 福山、中村(△)
▽試合時間 2時間16分
(球審：小松、塁審：関、
後藤、蛭巻)

点本塁打で加勢して優位に
立った。その後、打線の勢
いは止まらず、二、三回に
武岡が2打席連続の3ラン
をそれぞれ打ち、大差
で勝利した。青森山田は3
投手が継投したが、相手打
線を抑え込めずに力尽き
た。



「青森山田 八学光星 3回八学光星1死1、二塁、武岡龍世が2打席連続の本塁打を放ち、10―4と点差を広げる」はるか夢

14安打15点 昨夏敗れたライバルに雪辱



両チーム合計で24安打の乱打戦を制した八学光星。好機の一発で大量得点を奪い、昨夏の決勝で敗れた相手を書辱した。勝利が決まった瞬間、サインは拳を突き上げて、喜びを爆発させた。

昨夏の決勝は、青森山田を相手にわずから安打に泣いた。「打たなければ勝てない」と打力を鍛え、相手投手陣への対応力を磨いてきた。加えてリベンジに燃える気持が、強力打線に拍車を掛けた。

「相手より1点でも多く取る」と気合を入れて臨んだこの試合。1点をリードされて迎えた初回に、但井智哉の3点本塁打で、計4点を挙げて、試合の主導権をすぐに奪い返した。

その後好機を逃さずに加勢した。武岡龍世は二、三回に打席連続の本塁打で6打席の活躍。試合前日、長南洋主将から「肩をしめて打つよう」とアドバイスを受け、フォームを改善して臨んだという。1試合の本塁打は初めてで、最高です」と笑顔を見せた。

ライバルを破り、勢いに乗る光星。甲子園出場を懸けた大一番に、さらなる闘志を燃やした。2年生の武岡は「持ち味の打撃を生かし、3年生に負けない気迫で戦う」と気合を入れた。

(里村豊)